

# [10]演算子・固有関数・固有値

① 演算子とは？

$\hat{H}, \hat{O}, \dots$  のように表され (^ はハットと呼ぶ)  
演算子の右に書かれた関数に作用し  
変化を与える。

②  $\hat{H} = \frac{d^2}{dx^2}$  を  $f(x) = x^2$  に作用させると

$$\frac{d^2}{dx^2}(x^2) = \frac{d}{dx}(2x) = \underline{2} \quad \text{答え}$$

③  $\hat{H} = \frac{\partial^2}{\partial x^2} + \frac{\partial^2}{\partial y^2}$  を  $f(x, y) = 4x^3y^2 + 5x^2 + 1$  に作用

$$\begin{aligned} & \left( \frac{\partial^2}{\partial x^2} + \frac{\partial^2}{\partial y^2} \right) [4x^3y^2 + 5x^2 + 1] \\ &= \frac{\partial^2}{\partial x^2} [4x^3y^2 + 5x^2 + 1] + \frac{\partial^2}{\partial y^2} [4x^3y^2 + 5x^2 + 1] \\ &= \frac{\partial}{\partial x} [12x^2y^2 + 10x] + \frac{\partial^2}{\partial y^2} [8x^3y] \\ &= \underline{24xy^2 + 10 + 8x^3} \quad \text{答え} \end{aligned}$$

④ 固有関数・固有値とは？

ある演算子  $\hat{H}$  に対して演算後、  
元の関数の定数倍となる関数  $f$  と定数  $a$  を  
固有関数・固有値という。

$$\hat{H} f = a f$$

固有関数      固有値

⑤  $\hat{H} = \frac{d^2}{dx^2}$  の固有関数  $f(x)$  の例を示せ。

2階微分しても元の関数の定数倍

$$f(x) = e^{ax}, \sin ax, \cos ax, e^{iax} \quad (a: \text{実数})$$

固有値:  $a^2$ ,  
正

$-a^2, -a^2, -a^2$   
負  
波の式で出てくるのは  
負の固有値

⑥

$$\hat{H}_x f(x) = a_x f(x)$$

$$\hat{H}_y g(y) = a_y g(y)$$

を満たすとき、 $\hat{H}_x + \hat{H}_y$  を  
 $f(x)g(y)$  に作用させると、

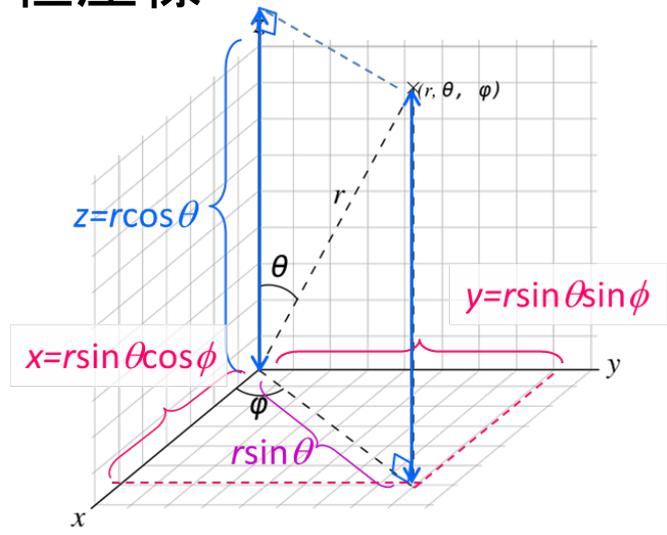
$$\begin{aligned} & (\hat{H}_x + \hat{H}_y) f(x)g(y) \\ &= \hat{H}_x f(x)g(y) + \hat{H}_y f(x)g(y) \end{aligned}$$

$\hat{H}_x$  は  $f(x)$  のみに、 $\hat{H}_y$  は  $g(y)$  のみに作用するので、第2項の  $\hat{H}_y$  は  $f(x)$  を通過して  $g(y)$  に演算するため

$$\begin{aligned} &= a_x f(x)g(y) + f(x)a_y g(y) \\ &= (a_x + a_y) f(x)g(y) \end{aligned}$$

したがって  $f(x)g(y)$  は固有値が  $a_x + a_y$  の固有関数になっていることが確かめられた。

# [11] 極座標



(x,y,z)...直交座標 (r,theta,phi)...極座標

球のようなものに便利  
 例 地球 緯度... $\theta$  (シータ)  
 経度... $\phi$  (ファイ)

$$\begin{cases} z = r \cos \theta \\ x = r \sin \theta \cos \phi \\ y = r \sin \theta \sin \phi \end{cases}$$

各変数の範囲  
 $r \geq 0$   
 $0 \leq \theta \leq \pi$   
 $0 \leq \phi < 2\pi$